

審査項目	審査基準	配点
1 全体的事項		
RPAやAI-OCR等のICTツールを活用して「働き方改革推進」を加速するための提言	これまでの業務実績に基づいた有効な提言であるか (業務実績については、業務概要及び業務遂行時に得られた知見、課題等を簡潔に整理)	20
2 委託業務内容		
(1)RPAやAI-OCR等のICTツール導入		
導入業務の選定支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的かつ理論的な選定基準であるか</li> <li>・ ツール導入のみを目的化しない提案となっているか</li> <li>・ 多くの業務を検討するための工夫があるか</li> </ul>	105
システム開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ツール導入に関する豊富な経験を有しているか</li> <li>・ 職員の負担を軽減する工夫があるか</li> <li>・ 円滑な導入を支援する工夫があるか</li> <li>・ 本県との役割分担が明確に示されており、妥当なものであるか</li> </ul>	
運用・保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定稼働に向けた対策は十分であるか</li> <li>・ P D C A サイクルを実現するための工夫があるか</li> <li>・ 運用の変更りかばりに柔軟に対応できるか</li> </ul>	
(2)持続可能な仕組みづくり		
業務マニュアル作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒアリング項目が明確に示されているか</li> <li>・ 効果的、効率的に情報収集する手法であるか</li> <li>・ 分かり易く可視化するための工夫があるか</li> <li>・ 市町村等に効果的に波及させる提案となっているか</li> </ul>	105
運用統制ルールの制定・導入計画策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定方針が明確に示されており、業務継続性を担保できる内容となっているか</li> <li>・ 第三者の理解を促す工夫があるか</li> <li>・ 次年度以降のシステム化を円滑かつ効率的に進める工夫があるか</li> </ul>	
研修など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実績のある研修プログラムであるか。</li> <li>・ 人材育成に有効な内容となっているか。</li> <li>・ 職員等の理解を深める工夫がされているか。</li> </ul>	
3 体制、その他事項		
業務の実施体制等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託業務を遂行するための体制、知識と経験を持ったスタッフは配置されているか</li> <li>・ 求めている成果を実現するためのスケジュールが示されているか。</li> </ul>	65
セキュリティ対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報セキュリティ対策は十分か</li> <li>・ 情報管理が徹底されているか</li> <li>・ インシデント発生時の対応や考え方が妥当であるか</li> </ul>	
地域人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育機関等との連携に関する提案があるか</li> <li>・ 人材育成、人材確保に向けた工夫があるか</li> </ul>	
今回の委託業務について特にアピールしたいことについて	業務遂行等に関する提案企業の強み等	
1から3の合計		190

見積金額による加算点

審査項目	審査基準	配点
本業務にかかる見積金額について	加算点 = (1 - 見積金額 / 上限金額) × 60 ※小数点第3位以下切り捨て	60

【審査方法】

- (1) 委員は、各項目について審査を行い採点する。
- (2) 全ての委員の点数を集計する。
- (3) 集計の結果、合計点数が最も高い参加者を受託候補者として決定する。なお、点数が同点の場合は、委員の協議により決定する。
- (4) 委員の合計点数が最低基準点である684点(満点1,140点×6割)以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- (5) 参加者が1者だけの場合、委員の合計点数が最低基準点である684点(満点1,140点×6割)以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。